スプライスユニット・Pシリーズ

光パッチパネル RD97-PN,98-PN　取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「注意」として表記してあります。

⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- ⃠ してはいけない内容です。
- ❗ 実行しなければならない内容です。

■使用上のご注意

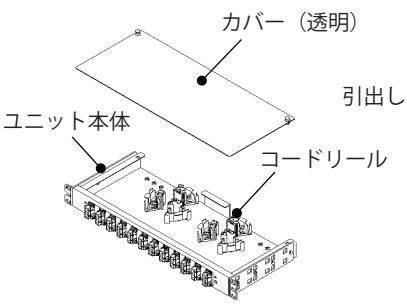
⚠注意			
⃠	製品の上に物を載せたり、もたれ掛かったりしないでください。破損、転倒やけがの原因になります。	⃠	落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損するおそれがあります。
⃠	次の場所では使用しないでください。故障の原因になります。 ・高温、高湿となる場所　・腐食性ガスのある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・有機溶剤の使用環境などの雰囲気（工場）	⚠	カバーおよび引出しユニットの開閉時に光ファイバの挟み込みや巻込みに十分注意してください。光ファイバの断線の原因になります。

■施工上のご注意

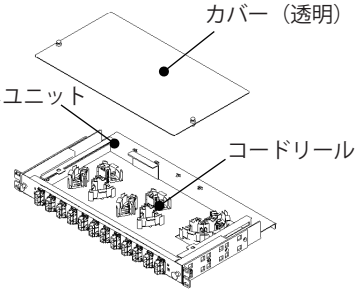
⚠注意			
⃠	引出しユニットを引出した状態で、引出しユニットの上に物を載せたりしないでください。破損、転倒やけがの原因になります。	⚠	引出しユニットを引出した状態で別の作業を行う時は十分に注意してください。けがの原因となります。
❗	引出しユニットは作業終了後必ずナイラッチをロックしてください。ロックしないと引出しユニットが飛出すおそれがあります。	❗	部品の配線替えなどでねじ締めをする際は、ねじをしっかり締付けてください。ねじの締付けが不十分ですと、落下、破損の原因になります。また、締付過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。 ねじの呼び：適正締付トルク M4：1.5 ～ 2.0N･m M5：2.5 ～ 3.0N･m

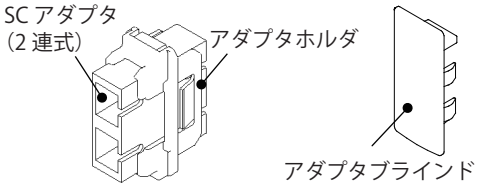
■各部名称

固定式【RD97】



スライド式【RD98】





■付属品一覧

	品名記号	コードリール	結束バンド
固定式【RD97】	RD97-1SC8PN	1コ	4コ
	RD97-1SC16PN		
	RD97-1SC24PN		
	RD97-2SC48PN		

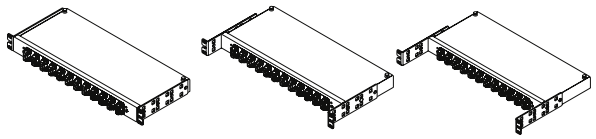
	品名記号	コードリール	結束バンド	スパイラルコード（1m）
スライド式【RD98】	RD98-1SC8PN	1コ	4コ	2コ
	RD98-1SC16PN			
	RD98-1SC24PN			
	RD98-2SC48PN			

■操作手順

1.【RD97,98 共通】

ブラケットの移動が可能です。移動量は前方に 50,100mm です。

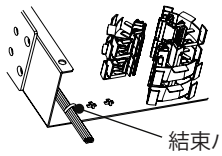
（ご注意）・ラックマウントアングルから扉までの隙間が狭い時など、最適な位置に設定してください。
・出荷時のブラケットの位置は最後方です。



2.【RD97,98 共通】

結束バンド（付属品）を下図のようにユニット本体のバンド穴に通し、光コードなどを固定します。

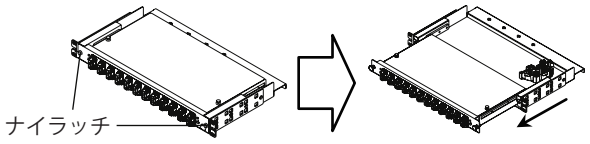
（ご注意）締付け箇所には保護用テープなどあらかじめ巻くことをおすすめします。



3.【RD98】

引出しユニットのナイラッチのロックを外し、ナイラッチを利用して引出しユニットを手前に引出します。

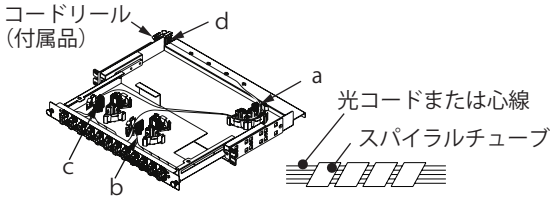
（ご注意）両側のナイラッチを確実に持って引出してください。



4.【RD98】

下図のように本体側のコードリール a から引出し側のコードリール b、c に光コードまたはファイバ心線を収納します。光コードの場合 (a ～ b、a ～ c 間) 付属のスパイラルチューブを必要な長さにカットして光コードがばらつかないようにまとめてください。心線の場合 (d ～ a ～ b、d ～ a ～ c 間) スパイラルチューブでしっかりと保護してください。また、入線口には必要に応じて付属品のコードリールをつけてください。配線ガイドとなります。

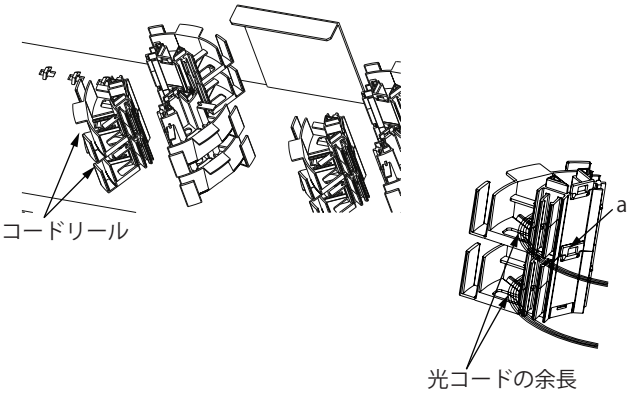
（ご注意）・引出しユニットの開閉時に光ファイバの挟み込みや巻込みに十分注意してください。断線の原因になります。
・a ～ b、c 部間の光コードはあまり弛みをもたせないでください。



5.【RD97,98 共通】

2U サイズのコードリールは段積構造になっています。前面のアダプタパネルの上下段の位置に合わせて光コードの余長を収納してください。上段を外さずに下段へ余長の収納が可能です。下段の収納処理がしにくい場合は、上段を外してください。その場合 a のヒンジ部分を爪で引掛け、下段を押えながら取外してください。

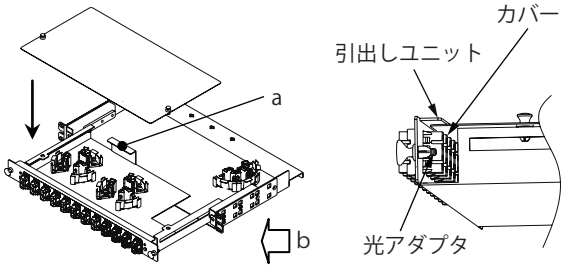
（ご注意）・コードリールに強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損するおそれがあります。
・下段から配線してください。



6.【RD97,98 共通】

配線作業が終了したら、カバーをユニット本体背面 a 部にのせて閉じてください。また、カバーはユニット本体（RD98 では、引出しユニット）と光アダプタの間に入ります。

（ご注意）カバーを閉じる間に、心線や光コードを挟まないよう十分注意してください。

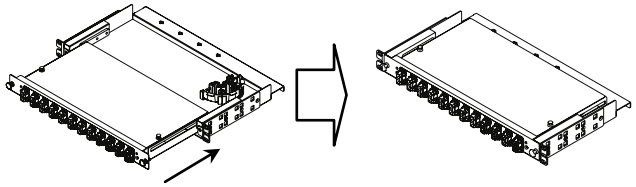


b 部から見た時のカバー収納状態

7.【RD98】

引出しユニットを収納します。本体側の穴に合わせナイラッチを押込むだけで固定できます。

（ご注意）両側のナイラッチを確実に持って押し戻してください。



■その他

●組替仕様・スプライス用オプション

1. 光アダプタ（SC〈APC〉,FC,LC〈4 連〉への組替や心線変更（4,12,20,44 心）なども別途対応いたします。
2.SC アダプタの増設は別売りのオプションパーツをご利用ください。（SPX1-4SC、SPX1-4LC、SPX1-8FCRA）

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社のお客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年1月現在のものです。

C419801925

日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp